

情報掲示板

お得なご招待や日々の暮らしに役立つ情報など

information

第21号：平成25年2月

東北と大阪を繋ぐ情報紙

IMONIKAI
いもにかい

発行 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
大阪市ボランティア情報センター
住所：〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センター内
電話番号：06-6765-4041
FAX：06-6765-5618

協力 大阪弁護士会
大阪市各区社会福祉協議会

吉本興業記念公演『吉本百年物語』 ご招待のご案内

吉本興業では、創業100周年を記念して記念公演を実施しています。春休みに大阪の名所であるなんばグランド花月に家族そろって出かけませんか？

日時： 3月27日(水) 午後7時～
3月28日(木) 午後7時～
(公演時間は約1時間30分)
※開場は30分前から(途中の入退場は自由です)

場所： なんばグランド花月(中央区難波千日前11番6号)
地下鉄「なんば」駅、南海・近鉄・阪神・JR各線「難波」駅

出演： 間寛平/林明日香/島田珠代/江口直彌/河内家菊水丸/ほか
(出演者は予告なく変更になることがあります)

対象： 東日本大震災により県外避難をされている方
※未就学のお子様はご遠慮ください

招待数： 両日とも各30人(希望者多数の際は抽選となる場合があります)

参加費： 無料(当日までに招待券をお送りいたします)

締切： 3月1日(金)

申込 大阪市ボランティア情報センター 担当：秋山・修田
☎：06-6765-4041



音と遊ぶ・音で作る・音を発見するワークショップ 大友良英 子どもオーケストラのご案内

簡単なルールと指揮者の支持にしたがって思い思いに音を出し、その日限りのアンサンブルをつくる「集団即興オーケストラ」のためのワークショップ&コンサート企画です。演奏が得意な子はもちろん、楽譜が読めなくても、初心者でも、学校の音楽の授業が苦手な子でも、大丈夫。気軽に参加してみてください!

日程・場所： 2/23(土) 午後2時30分～4時30分
大阪市立南津守小学校 4階音楽室
3/9(土) 午後2時30分～4時30分
大阪市立南津守小学校 4階音楽室
3/16(土) 午後2時30分～4時30分
大阪府立江之子島文化芸術想像センター 地下1階
3/17(日) 午後2時～4時
大阪府立江之子島文化芸術想像センター 地下1階

講師(指揮)： 大友良英(音楽家)
参加ミュージシャン： 河辺知美、横沢道治、PIKA☆ ほか

対象： 小学3年生から高校生まで
※小学2年生以下の子の参加も相談に応じます

持ち物： 上履き、楽器 ※得意な楽器がある子は持って来てください。
楽器のない子はこちらでも準備しています。

申込・問合せ プレーカープロジェクト実行委員会事務局
Tel:070-5046-8667(11:00～19:00)
E-mail:breakerproject2011@gmail.com

続けよう支援の想いを 東北六県 物産展

まもなく3月11日の東日本大震災から2年の月日が経とうとしています。大阪市交通局では東北地方の復興応援の一つとして「東北六県物産展」を開催します。私たちは東北のことを忘れません。

日時： 2月22日(金) 正午(12時)～午後7時
2月23日(土) 午前11時～午後6時

場所： 大阪市営地下鉄谷町線「天満橋」駅
北改札(OMM連絡通路側)付近

販売物： 岩手県…くるみたっぷりゆべし、チョコ南部 など
宮城県…牛タンカレー、ふかひれ濃縮スープ など
福島県…ままだおる、喜多方ラーメン など
他にも盛りだくさん!

※地下鉄駅売店(ポプラ・ファミリーマート)においても、
3月4日～17日の間に東北各県の商品を販売する予定です。

主催 大阪市交通局

3月のCafe IMONIKAIのご案内

日時： 3月27日(水)
10:00～15:00
※12:00～13:00はお昼休みとなります。
※昼食は各自でご用意ください。

場所： 大阪市立社会福祉センター
(天王寺区東高津町12-10)
地下鉄「谷町九丁目」駅、近鉄
「大阪上本町」駅11番出口

申込： お電話またはEメールにてお申込みください。
Eメールでのお申込みには、お名前、参加人数を
ご明記ください。
☎：06-6765-4041(担当：修田・椋木)
E-mail:vicpc01@osakacity-vnet.or.jp



里帰り×ボランティアバス第2弾!

避難されている方に帰省に利用していただける「里帰り×ボランティアバス」の第2弾を3月下旬ごろに実施を予定しています。詳細が決まりましたらまたお知らせいたします。ぜひご利用ください。

問合せ 大阪市ボランティア情報センター
☎:06-6765-4041

ご質問、ご連絡等は...



IMONIKAI バックナンバーもお送りできますので
ご希望の方はご連絡ください。

社会福祉法人大阪市社会福祉協議会 大阪市ボランティア情報センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内
Tel 06-6765-4041 / Fax 06-6765-5618
《利用時間》
月～金曜 9:30～20:30 土曜 9:30～17:00
《休館日》
日曜・祝日・国民の休日及び
年末年始(12月29日～1月3日)
E-mail:ocvic@osakacity-vnet.or.jp

3.11 from KANSAI 避難者のつどい in KANSAI 参加者募集!

震災から2年、避難されている方の交流会を開催します。

関西へ避難されて来られた方々がつどい、情報交換やつながり作りの場として交流会を開催します。また、支援活動に取り組む方々も一緒に参加して、支えあい・つながりを強めます。支援情報の提供や、専門家や避難された当事者による相談ブースもあります。

日時： 3月10日(日) 10:30～12:00
会場： 梅田スカイビル タワーウエスト36階
対象： 東日本大震災により県外避難をされている方
参加費： 無料(各支援団体・企業によるお菓子等のおみやげ付き)
参加定員： 100人(申込多数の場合はお断りさせていただくことがあります)
保育： あり(お申込みの際にご相談ください)

申込・問合せ 大阪市ボランティア情報センター(担当：溝淵・修田・秋山)
電話：06-6765-4041

そのほか「3.11 from KANSAI」では...

物販・展示・活動紹介ブース ステージイベント シンポジウム



最近では関西でもおなじみになってきた(?)東北の風物詩いも煮をはじめ、復興商品や東北物産の販売も行うブース出展があります。また子どもたちがお店をお手伝いできるブース「こども食堂」も営業しますので、ぜひ遊びに来てください!

ステージで東北の今、復興への道のり、避難された方の声などを紹介します。東北グルメバトルやステージパフォーマンスなど楽しいものも目白押し!イベントフィナーレにはLEDキャンドルでメッセージを作り黙祷をささげます。

「避難された人の今をみつめる」と題したシンポジウムを開催します。震災をきっかけに関西に移住した人々の多様な課題について、どのようにこの問題に向き合っていけるのかを考えます。
問合せ:大阪ボランティア協会
☎:06-6465-8391

行ってきました

里帰り×ボランティアバス

1月12日(土)から1月15日(火)にかけて、大阪市ボランティア情報センターでは県外避難をされている方と被災地でのボランティア活動を希望される方にバスに相乗りいただいて、地元への帰省と現地でのボランティア活動にご活用いただく「里帰り×ボランティアバス」を運行しました。また同日程で、昨年9月にも実施した「いわきーおおさか交流バス」の第2弾を運行し、帰省に利用される方14人、ボランティアに参加される方31人でバス2台に乗りこみ、帰省先、活動場所に向けて出発しました。

帰省利用者とボランティア参加者を乗せたバスは、東京・いわき・郡山に立ち寄り、それぞれ帰省利用者の方に降りていただくかたちを取りました。バスの車内では移動するだけではなく方言クイズ、連想ビンゴゲームなどのゲームを行いお互いの交流をはかる機会ももちました。窓から見える富士山や東京スカイツリーなどにはしゃいだり、小さな子どもに風船や折り紙で遊びをしてくれるボランティアのおっちゃんがいったり・・・まるで団体旅行のような明るい雰囲気になりながら、ふるさとへの地へ向かいました。

行きの順調な道から一転、大阪へ帰ってくる日は、関東ではまれに見る大雪となり、予定を変更し新幹線を使うことになるなど大変なトラブルに見舞われました。そんな状況になってもバスの中では、みなさんのご協力もあり無事に帰ってくることができました。参加されたみなさん、本当にお疲れ様でした。

帰省利用者の方からは、『小さな子どもをみてもらえて本当に助かりました』『普段の夜行バスよりも楽に感じました』などのお声をいただきました。長い時間の移動もリラックスした雰囲気です。この相乗りバス、今後も活用方法を考えていきたいと思えます。



↑終始元気はつらつの4歳と2歳の兄妹。車内ではおりこうさんでした。



↑後部座席はサロンのタイプ。子どもたちの遊び場になっていました。

現地の支援団体へヒアリングをしてきました。

今回の里帰り×ボランティアバスではスタッフ2人はボランティア活動には同行せず、現地の復興支援団体の現状を調査するためのヒアリングへ向かいました。修田の出身地である福島県富岡町の社会福祉協議会(現在は郡山市に機能を移している)が運営する『おだがいさまセンター』、同じく郡山市内に富岡町民がつどえる場所を提供している『ふくしま絆カフェとみおか』、福島県いわき市の災害ボランティアの受け入れをしている『いわき市復興支援ボランティアセンター』へ行き、それぞれの震災直後からの活動を聞くことができました。

共通して口にされていたことは、「復興に向かうためには人が立ち上がっていかなくてはいけない」ということでした。先の見えない避難生活、崩れてしまったコミュニティの再生・・・課題は山積みですが、被災した人々が再び元気を取り戻すまで、支援団体の活動は続いています。



今回の取材の様子は、大阪市ボランティア情報センターが発行しているボランティア活動情報誌『COMVO』2013年3.4月号にも掲載しています。ぜひ一度ご覧ください！

ホームページでもご覧いただけます！

URL⇒ <http://comvo.weblogs.jp/>

ボランティア活動報告 いわきーおおさか交流バス

今回のボランティア活動先は、福島県いわき市の高久第一応急仮設住宅(189世帯)です。『同じ場所において、息の長い震災支援を続けて欲しい』という住民の方々の声を受け、昨年9月以来、2度目の訪問となりました。現在、いわき市には10ヶ所の仮設住宅がありますが、高久第一応急仮設住宅は最初に設置されたものです。(いわき市は被災地であると同時に、周辺市町村からの避難者22,000人の受入自治体でもあります)

今回は2日間活動できましたので、食事提供のメニューも、1日目は『たこ焼』、2日目は『あんかけうどん』と、2つの関西の味を現地の皆さんに楽しんでもらう事ができました。その他、集会所に来ていただいた方には、アロマハンドケアでリラックスしながらおしゃべりを楽しんでいただいたり、子ども達とは、ボール遊び、折り紙やトランプ等のゲームをして交流を深めました。また、今回は、希望される方には、各住居へ個別訪問し、食事提供やアロマハンドケアなどの活動も行ない、前回以上に、高久第一仮設住宅の方々と交流の時間を持つことができました。



現地の皆さんからは、『最近、ボランティアで訪問してくれる人が少なくなっているので、来てもらって嬉しかった』、『日々の色々なストレスが溜まっているが、話を聞いてもらって少し楽になりました』等のお言葉をいただいた一方、『仮設住宅での人間関係に馴染めず、孤立してしまう人がいる』、『仮設住宅の生活は、夏は暑く冬は非常に寒い。1日も早い復興住宅の完成を願っている』等の難しい問題にも直面している現状をお伺いしました。

今までのような、『お金・物資・マンパワー』を提供するだけの支援だけではなく、被災者の方々が、目標を持ち、自ら歩いていく『自立に向けた支援』の必要性を、もっと考えていくべきではないか、と感じました。(荒野)

方言の交差点

ー東北弁と大阪弁が出会う場所ー

共通語？それとも方言？

バスから「オチル」。ご飯を「ワケル」。ごみを「ナゲル」。これらは東北の方言です。東北では地域によって降車することをオチル、取り分けることをワケル、捨てることをナゲルと言います。宮城、山形、福島の一部では「イキナリおいしい」というように「とても」の意味でイキナリを使う人たちもいます。おもしろいのは、多くの人が、こうした方言を共通語だと思っていることです。形が共通語と同じで使い方が少し似ているからかもしれません。

大阪にも、共通語と形が同じで使い方も似ていることから、共通語だと思われる方言があります。「ナオス」です。壊れた物をナオスとか病気をナオスというように、修理や治療の意味で使うのは共通語も同じです。また、共通語では訂正の意味で間違いをナオスとも使います。でも、大阪では「片づける」とか「しまう」の意味でも使います。以前、書類を渡され「ナオしてください」と言われたので、修正箇所を探してしまいました。でも、本当は「しまってください」の意味でした。共通語の意味なのか、方言の意味なのか。その場ではなかなかわからないものですが、言葉の意味の地域差も互いに面白がれるようになれば、他の方言や地域への理解もさらに深まるような気がします。

(追手門学院大学講師 櫛引祐希子)

【方言募集】どんな疑問・質問でも結構です。ぜひ、ご連絡ください。

住所: 〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 追手門学院大学 櫛引祐希子

E-mail: yukushib@res.otemon.ac.jp